

公表

令和6年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス「ふらっぴ」			
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月12日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層のお子さん同士が関わる集団活動	小学生～中学生のお子さんが在籍しており、異年齢のお子さん同士が関わり合う環境を活かした社会性の育ちを支えている。 低学年のお子さんは、高学年のお子さんが活動や遊びの場でリーダーシップを取る姿や他児同士のやりとりを仲介する姿を見て集団の中での他者との関わり方を学び、高学年のお子さんは、低学年のお子さんや仲良しのお子さんに向けて“助ける”“教える”などの気持ちを育むサポートをしている。	事業所内だけでなく、他事業所や地域の子どもたちと関わる機会の確保。
2	活動スペースの広さ	活動場所として室内だけでなくテラスを活用することにより、広いスペースでさまざまな活動ができるよう工夫している。 夏の暑い時期にテラスにプールを設置して水遊びやプールの活動をしたり、多目的室や1階ホールなどを活用して高学年のお子さんも伸び伸びと体を動かして気持ちの発散ができるようにしている。	雨天時は多目的室を活用することが多いが面談等の別の用途で部屋を使っていることがあり、雨天時の活動内容が固定化しないよう1階ホールの活用を増やしていく。
3	帰りの迎え時にご家族と職員が顔を見合わせてゆっくり話がができる	帰りはあえてご家庭への送迎は行わず、ご家族に迎えに来てもらうことで、お互いに顔を見合わせてゆっくりとお子さんの様子を伝え合っている。 お子さんをお預かりしたまま急ぎの相談にもすぐに対応できる体制をとっている。	お子さんの迎えが重なった時にご家族それぞれに対してゆっくりと時間をとれないことがあるため、ご家族からの相談がある際は事前の調整を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPやSNSでの情報発信があまりできていない	ご家族に向けて毎月『ふらっぴだより』の発行をしているが、外部に向けての発信は年数回のXを活用した発信にとどまっている。	今後情報発信の際に活用するツールや発信内容、頻度について検討する。
2	緊急時の保護者への連絡体制に不安がある	事前に緊急連絡先をお伺いしてすぐに連絡を取れる体制をとっているが、災害時等に十分な対応ができるかどうか不安がある。	災害時等の対策について事業所内でより具体的な場面を想定した話し合いを重ねていく。